



STOP! 介護崩壊 介護ウェブ2010 推進ニュース

— 介護ウェブの “Big Wave” をおこそう! —

方針「今後の介護ウェブの取り組みについて」を具体化し介護改善要求の声を国会に届けよう!

住み慣れた街で、「生活」を全うしたいという願いは贅沢でしょうか 小さな声を大きな輪に! 11月27日市民のつどいに400人を超える参加(北海道)

厚労省の「第37回社会保障審議会介護保険部会（11月25日）」で審議を終えたばかりの勝田登志子さんは、「今は、怒りでいっぱいです」と切り出しました。そして、「見直し（案）についてお話しするのは、全国で札幌が初めて。ぜひ”これはひどい!”という声を札幌から広げてほしい」と呼びかけました。また、介護保険部会については、「利用者家族の代表が3人しかおらず、ヘルパーの代表もケアマネジャーの代表も入っていない。現場を知らない学者先生が訳のわからない議論で煙に巻いてしまう。厚労省が出してきた見直し（案）には、13回の介護保険部会の審議の中で誰も言っていない意見が盛り込まれていて、私たちが何度も強調した意見は、ほとんどとりあげてもらえていない」と、痛烈に批判しました。今回の「見直し（案）」は、ケアプランの自己負担導入や利用料2割に引き上げ、軽度者・生活援助の保険はずしなど、現場・当事者の声と実態を無視される形になっています。



参加者から「軽度者にこそ手厚い支援が必要」（小畑勝裕さん・余市町地域包括支援センター）、「家族にとって、負担が増えて、給付が減るとしか見えない」（介護生活30年の江端愛子さん）と発言を受けて、「住み慣れた街で、生活を全うしたいという願いは贅沢でしょうか。マスコミはもう決まったかのような報道をしているけれど、そんなことはない。まだ何も決まっていないんです。これから、全国から声をあげて、見直し（案）を変えていくために、力を

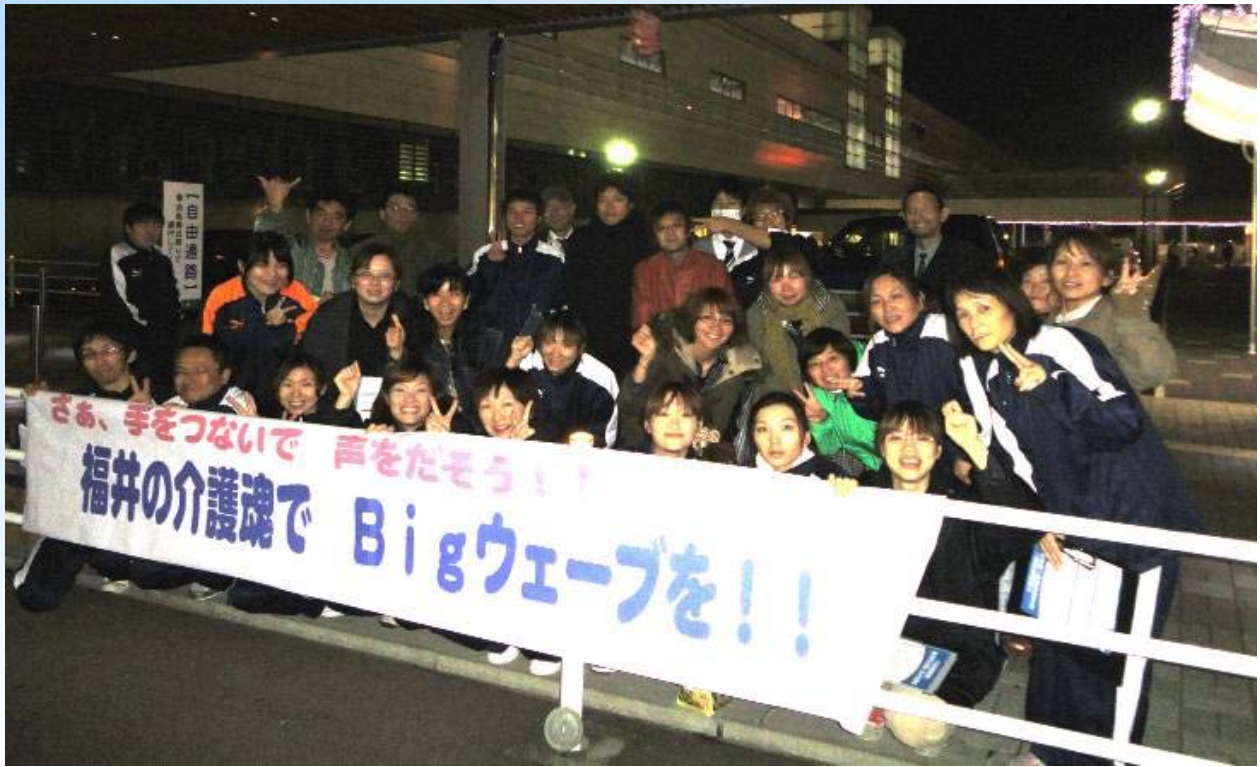
合わせていきましょう」と、勝田さんの力強い呼びかけに参加者は大きな拍手で応えました。集会の中では、北海道民医連が10月にとりくんだ「介護利用者調査」（回答1,234人）の結果が報告されました。

「チラシを見て参加しました。見直しが行われることは報道で知っていましたが、今何が起きているのかがよくわかりました」という市民の方々や、北見、釧路、函館、旭川、苫小牧など全道から集まった400人は、「介護分野で働くものが団結してがんばりたい」（道東勤医協ヘルパー）、「日頃から自分たちが高齢者になったらどうということが予想されるかを話し合い、運動を広げることが大切と痛感しています」（豊平区在住の市民）と、決意を胸にしていました。

また、細川厚労大臣への「一言FAX」の取り組みでは、参加者から「早く死ねといっているようにしか聞こえません」「戦前苦労して77才になりました。私に早く死ねといっているようにしか聞こえません（東区）」、「自己負担は応能負担にしてください。がん・心臓病の治療で医療費も大変です。これで介護は必要になったら、とても払えません（豊平区）」、「働いている時にしっかりと税金を払ってきたのに、年金生活になってもまだ払い続けられないといけませんか（豊平区）」と言った声が多数寄せられました。（介護に笑顔を！道連絡会ニュース2010.11.29より）

西武前・アオッサ前「介護ウェーブ行動」職員40名集まる！（福井）

11月5日（金）18時から西武前・アオッサ前にわかれ介護ウェーブ街頭宣伝行動を行いました。職員40名参加のもと、福井民医連職員が地域の方々にさまざまな介護への思いや情勢を熱く街頭で訴えました。署名活動や介護ビラの介護ウェーブティッシュを配るなど大々的にアピールし、署名は267筆集まりました。道行く市民から、「高い保険料を何とかして欲しい。がんばってください」、「現在施設利用料が18万円です。高いけどしかたがない」、「うちの母が介護師をしています。介護士が足りないと聞いていますので、是非がんばってください」、「今後、自分達がお世話になるのでがんばってください」、「国の負担金を増やしてほしい」、「結局介護が使えずに保険料支払い損になる」といった声が寄せられました。（福井民医連介護ウェーブ運動ニュース No.2 2010年11月5日より）



責任者の菊池さんが、数日間で4回ほど署名の訴え！ 署名2,939筆の到達（愛媛）



介護改善署名は、デイサービスごしきから50筆、協立在宅ケアセンターから20筆、先日紹介した虹の家からも35筆が到着し、合計で465筆になりました。すでに取り組んできた介護ウェーブ署名2,474筆と合わせると2,939筆になります。このうち、デイサービスごしきでは、責任者の菊池さんが、数日間で4回ほど署名の訴えを行いました。利用日が異なるのでみんなに声をかけるのに数日かかるのです。署名を呼びかける横断幕を今も貼っているということで、急いで訪問してみました。

玄関を入ると、ラベルを貼付した履き物箱があり、正面には利用者さん達の書いた習字が並び、その足下には、介護改善署名をよびかける横断幕が貼られていました。あつたか拓南からは150筆の署名が届きました。ここでは、1,000筆を超えて署名を集めている利用者さんの奮闘があります。えひめ保健企画からは、松山ハローの100筆、若水ハローの80筆が届いています。引き続き各事業所の奮闘をご紹介します。（愛媛県民医連社保平和委員会ニュース2010年11月24日 NO.144より）

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp